

# 毒物の名険!>

梅雨が始まり、毎日ジメジメし た日が続いていますが、どのよう にお過ごしですか?もう夏も 目の前、"食中毒"に気を つけなければならないです ね!食中毒といえば黄色 ブドウ球菌や 0157 など細菌に よるものと思われがちですが、そ の他にも原因があると考えられて います。そこで今回はその原因の

## 《毒と薬は紙一重??》

一つである「毒物」についてお話

したいと思います。

「毒」と「薬」の違いは?と聞 かれた時どう答えますか。毒も薬 も私たちが生きていくうえで、何 らかの影響を及ぼす化学物質とい えます。その中で良い影響を及ぼ すものを薬、悪い影響のものを毒 としています。「毒」の中から使 い方や使用量を加減して人間に役 立つように考え出したものが「薬」 といえます。ここで日常生活に目 を向けてみると、蚊を退治する殺 虫剤、手の消毒の殺菌剤、食品中 の防腐剤、農作物に使用される農 薬など、私たちはたくさんの「毒」 に囲まれて生活しているのです。



# 『毒にまつわるコラム①』

☆酒は百薬の長?☆

・お酒は適量を楽しく飲めば「百薬の 長」であるが、飲み方を誤ったり、体質 に合わないと全く違うものになります。 これは、まさに、「毒」と「薬」が表裏ー 体であるのと同じです。

#### ☆二日酔いの原因は?☆

お酒を飲んで体内に入ったアルコー ルはアセトアルデヒドという物質になり ます。これが悪酔いや二日酔いの原因 物質です。これはさらにある酵素によっ て無害な酢酸に変換されます。日本人 の約4割はこの酵素が先天的に欠損し ており、少量のアセトアルデヒドが体内 に蓄積し、不快な症状に悩んでしまい ます。ちなみに毒キノコの中には酵素 の働きを阻害する成分を出すものがあ り、このキノコを酒の肴にして飲酒する とどんな大酒飲みでも悪酔いするとい われています。

## 《アルカロイドとは何??》

アルカロイドという言葉を知っ ていますか?地球上には毒の成分 をもともと持っている植物がたく さんあります。この毒の成分をア ルカロイドと呼び、その化合物は 窒素を含んでいます。植物由来の 毒はほとんどアルカロイドといえ ます。このアルカロイドが食中毒 の原因となることがあります。

代表的な例を下表にまとめました。

植物名	アルカロイド名	
トリカブト	アコニチン	
コーヒー	カフェイン	
ジャガイモ	$\alpha$ - $f$ $\tau$ $3=2$ $y · y5=2y$	
たばこ	ニコチン	

## 小学校の調理実習で食中毒??

ある小学校で栽培・収穫し、家 庭科実習で調理したジャガイモを 食べた児童が吐き気・腹痛など食 中毒の症状を訴えました。そこで 残っていたジャガイモを調べると 自然毒が市販の6倍も含まれてい ました。この毒の成分がα-チャコ ニンとソラニンというアルカロイ ドでした。この原因は、栽培の知 識不足と特に毒の含有量が高かっ た皮をむかずに食べたことでした。 この成分は皮や芽に多く含まれる ので、芽や皮(特に緑化したもの) は取り除く必要があります。この ような毒を持つ植物はキノコや山 菜など他にもたくさんありますの で利用法など注意が必要です。

#### 『毒にまつわるコラム②』

#### ☆歯磨き粉から毒?☆

6月15日、中国から輸入されている練 り歯磨き粉からジエチレングリコールが 検出されたため回収と使用を中止する よう厚生労働省から報告がありました。 この物質は自動車の不凍液として使わ れていますが、適度の甘味を持ってい て、ワインの甘さを増すために添加さ れ問題になったこともありました。大量 に服用すると吐き気や腹痛、神経系へ の毒性もあり危険です。

#### 2007年 6-7月 / 第2号

《乳幼児の誤飲事故!!》

乳幼児の事故で最も多いのが誤 飲事故です。子供が「はいはい」 をするようになると、手に触れた ものを何でも口に入れるようにな ります。身の回りにある洗剤、化 粧品, 乾燥剤, 殺虫剤, 医薬品, 園芸用品などは全て、中毒事故を

引き起こす原因となる物質です。 また最近は、老人の事故も増えて いるそうです。

### <吐かせていいもの・悪いもの>

処置	飲ませる		吐か
種類	水	牛乳	せる
たばこ	0	0	0
洗剤	0	0	×
医薬品	0	0	0
石鹸	0	0	0
ガラス	X	×	×
マニキュア	X	×	×
灯油	X	×	×

上の表は一例に過ぎません。応 急処置をした後はできるだけ早く 病院へ行くことをオススメします。 詳しい対処法などが県のホームペ ージにも紹介されていますのでそ ちらをのぞいてみては・・・!!

★ 当センターでは、残留農薬をは じめ栄養分析、ビタミン、添加物、 動物用医薬品などの検査を行って おります。また、今後も新たに立 ち上げを行い、検査項目の拡張を 試みています。

お客様の力添えになるよう努力 いたしますので宜しくお願いいた します。



TEL: 099-253-8935

FAX: 099-255-2850 H19. 6. 29